

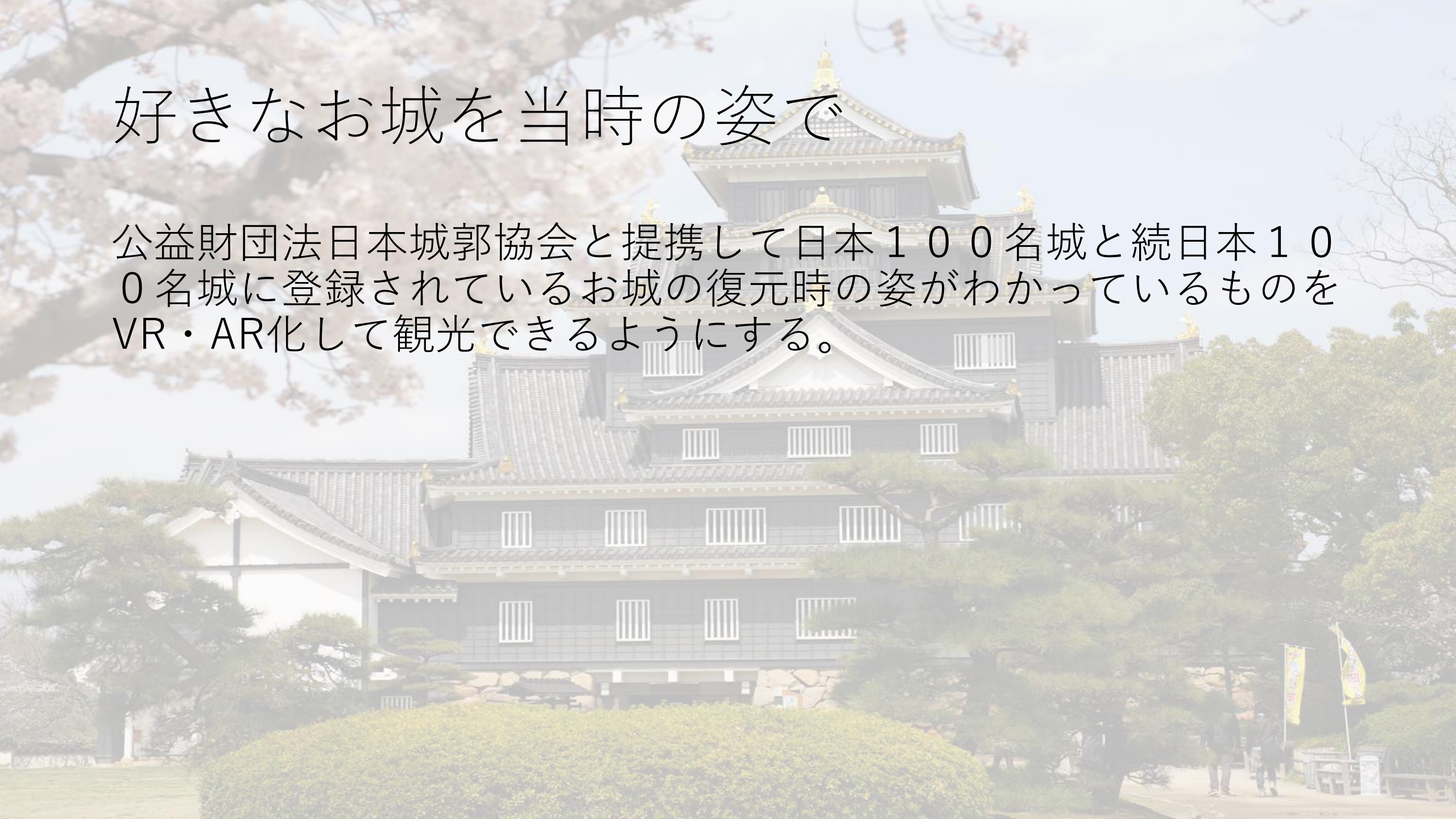


城

1つにまとめてアプリやサイト
いろいろな城を見よう

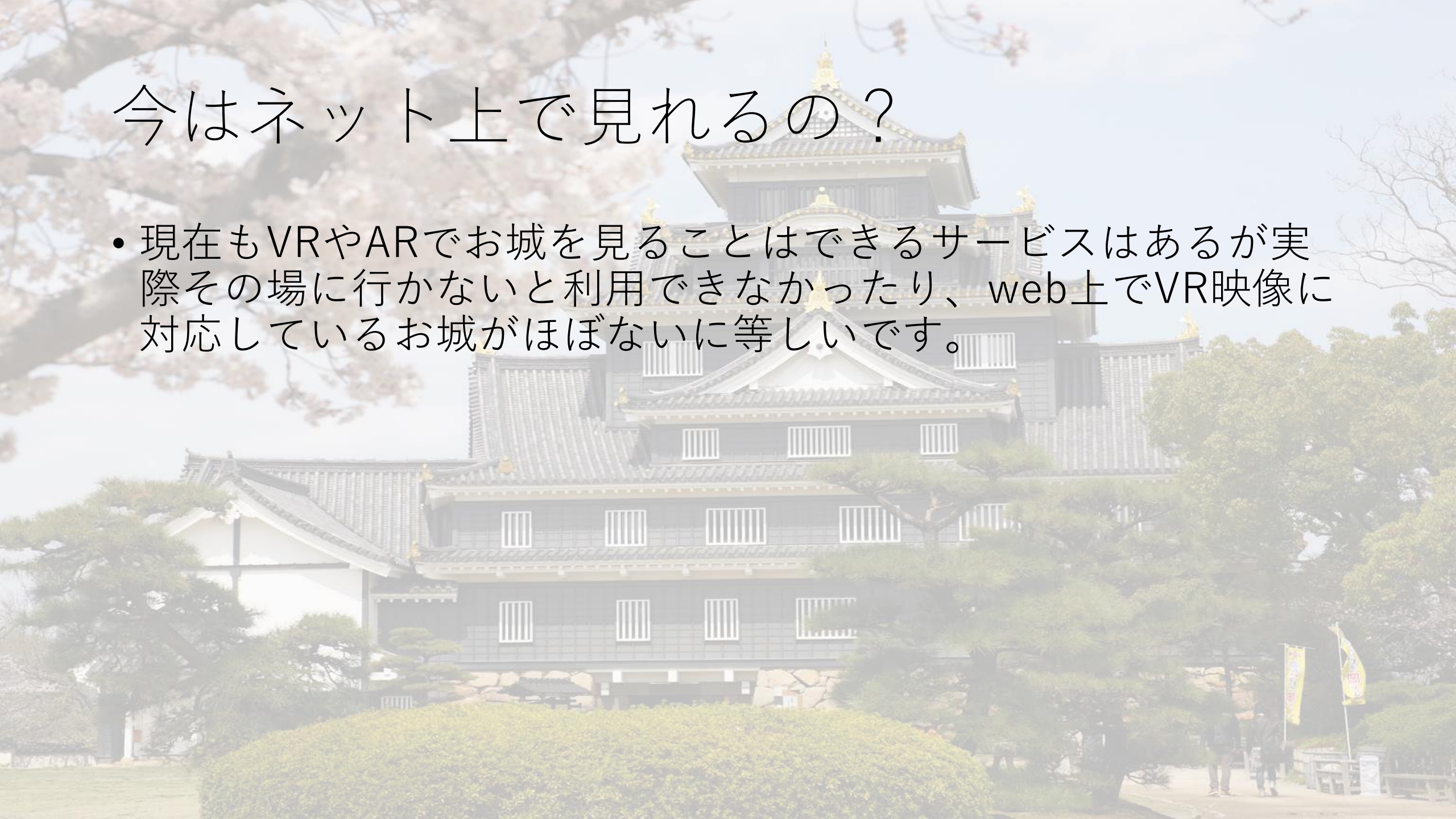
好きなお城を当時の姿で

公益財団法人日本城郭協会と提携して日本100名城と続日本100名城に登録されているお城の復元時の姿がわかっているものをVR・AR化して観光できるようにする。



今はネット上で見れるの？

- 現在もVRやARでお城を見ることはできるサービスはあるが実際その場に行かないと利用できなかったり、web上でVR映像に対応しているお城がほぼないに等しいです。



現状

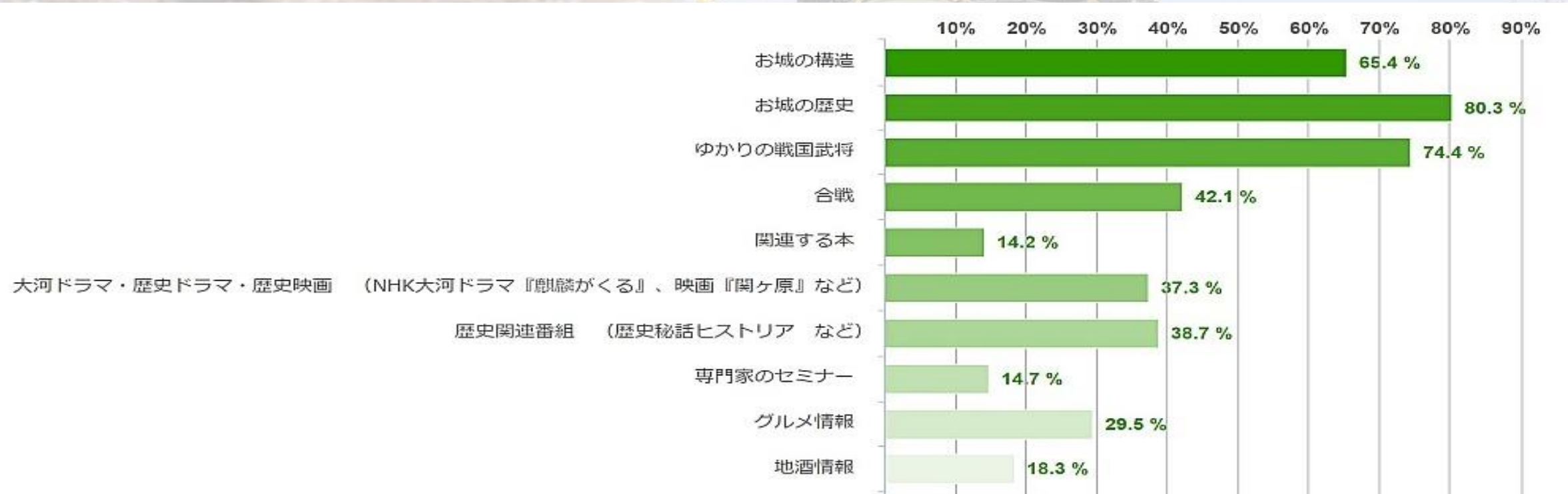
- 2022年6月の時点ではVR・ARと銘打った城系のコンテンツは約50か所となっておりいろいろなバリエーションがあるが、下記のようにインターネット上でのお城の観光は難しくなっている

★独立アプリ

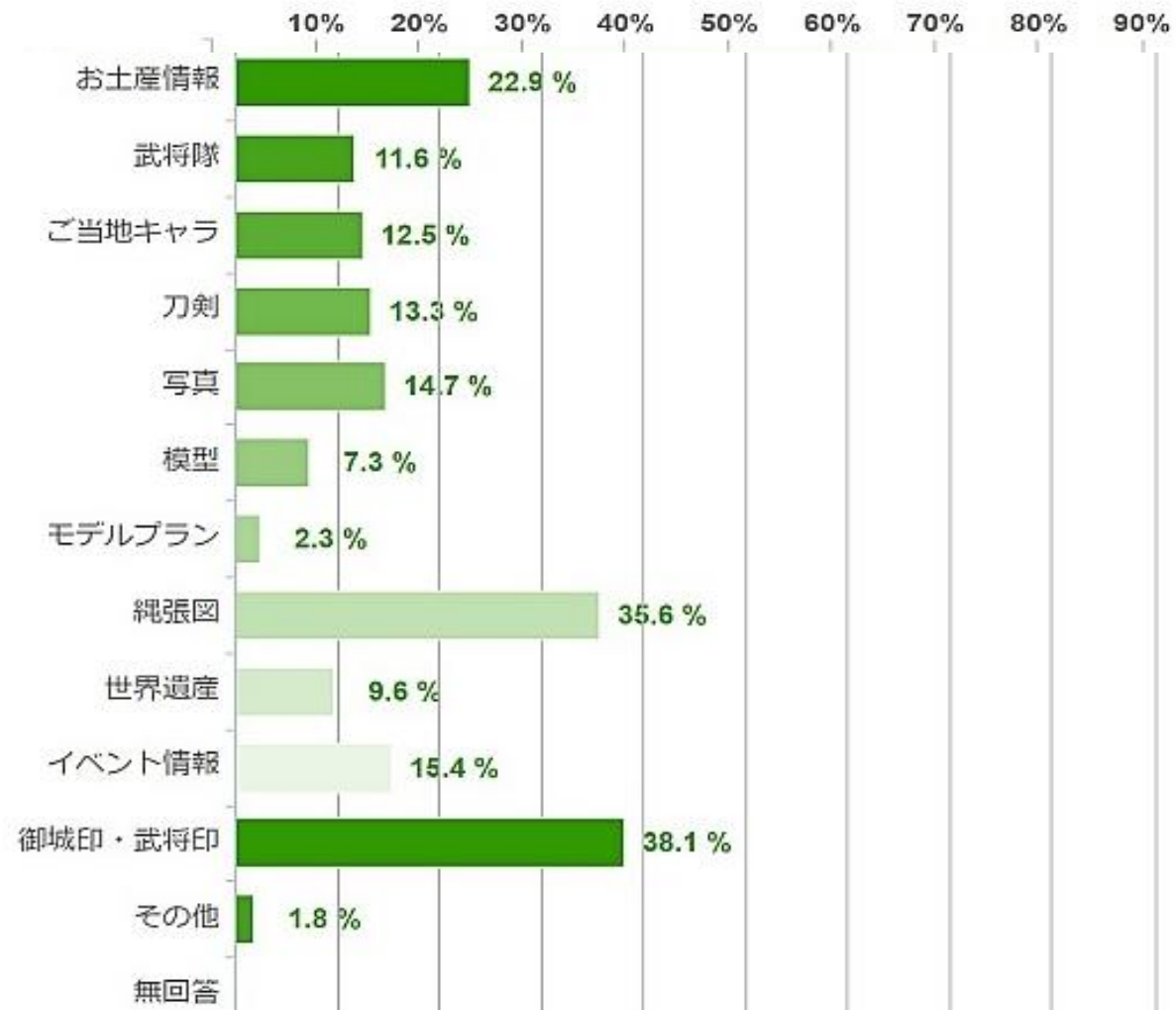
★凸版印刷が展開しているストリートミュージアム

★各城や博物館など限定での上映や貸し出し端末にのみの提供

お城へ興味（アンケート上部）

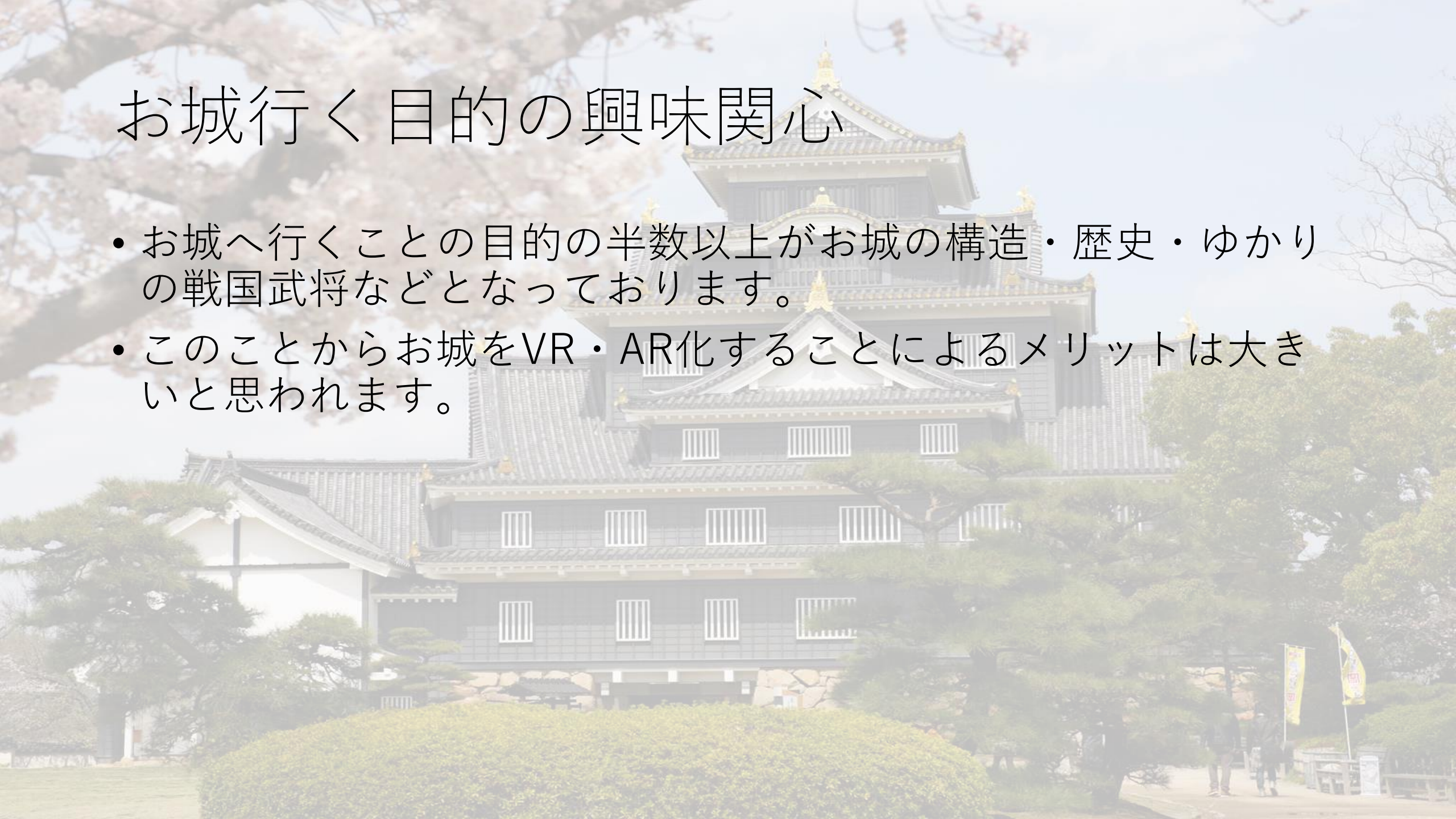


お城へ興味（アンケート下部）

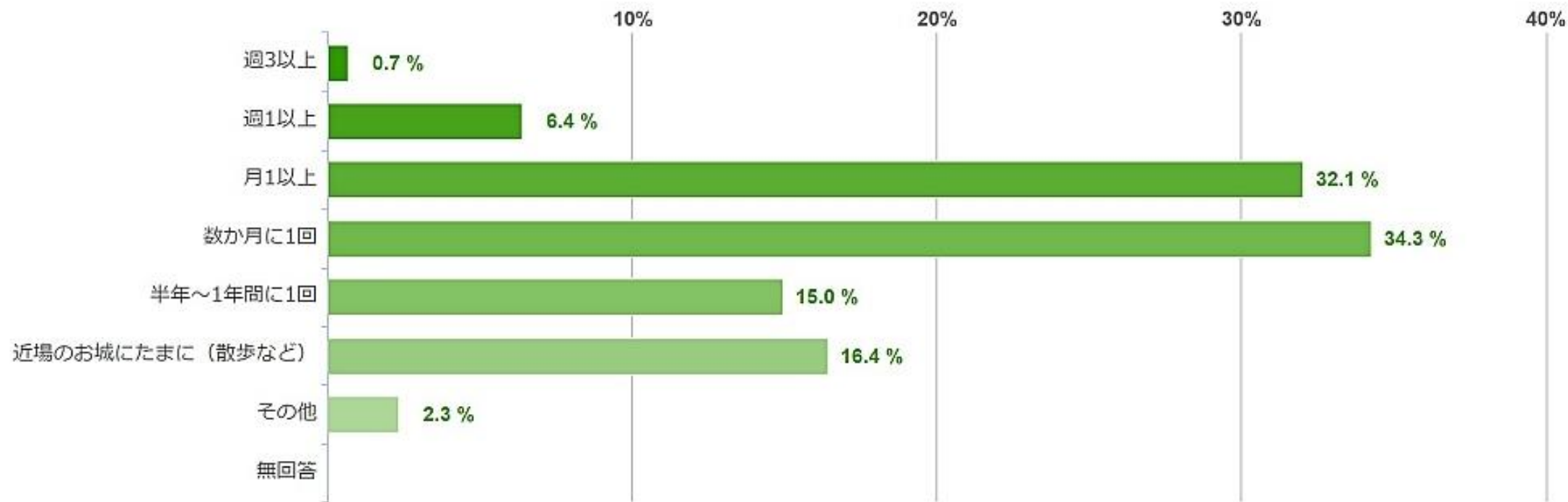


お城行く 目的の興味関心

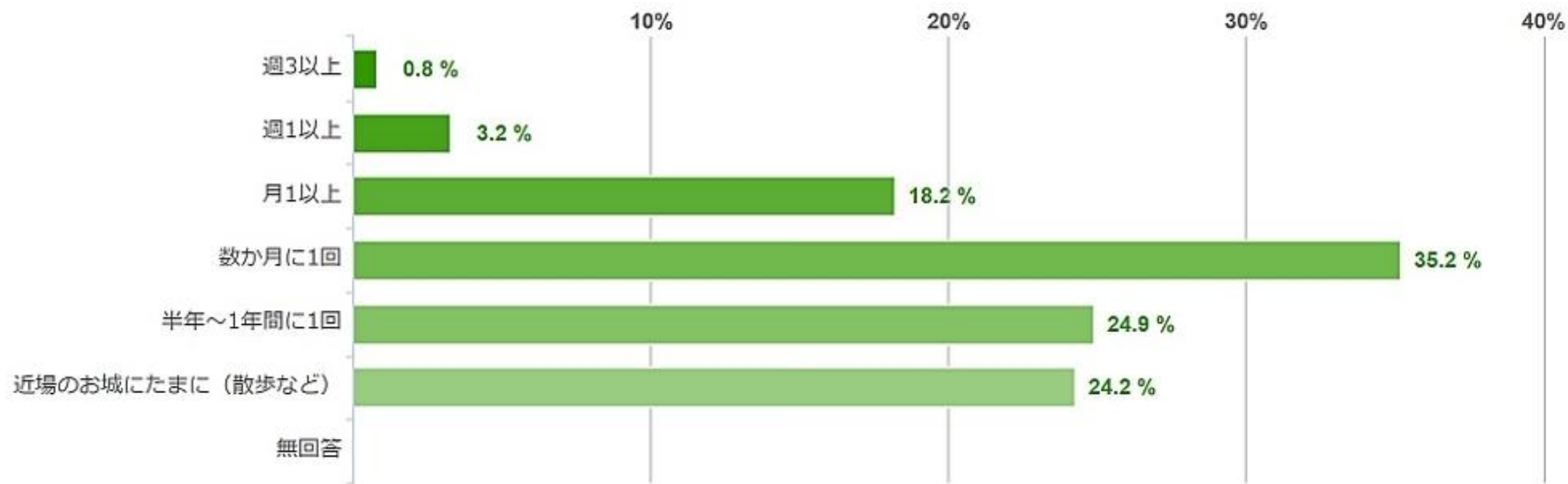
- お城へ行くことの目的の半数以上がお城の構造・歴史・ゆかりの戦国武将などとなっております。
- このことからお城をVR・AR化することによるメリットは大きいと思われれます。



コロナ禍前のお城への頻度



コロナ禍後のお城へ行く頻度



城へ行く人が減った

- 先に提示したようにコロナ禍によりお城へ月一回以上訪れる人の割合が半減しています。
- そのかわり「半年から1年」と「近場のお城に」の割合が10%ほど増えている現状です

商業面では

- 一城100円程度の買い切りでお城のAR・VRを楽しめるようにする
- 商業面では城の歴史案内などで地域の食文化などに触れることでお土産の通販などにつなげることができるのではないかと考える。
- 御城印は現地での購入限定にすることによってアプリで観光後コロナ禍など落ち着いたタイミングで来場者数も増えると考え

まとめ

- 以上のことからお城をAR・VR化することによってよりその城について知ることができるので利用者にとってメリットになる。
- お城側としても、一つのサイトアプリですべての城を見ることができるようになったため、関連施設として紹介することで知名度や認知度を上げることもでき、資料館限定で提供していたAR・VRの映像を少額で販売することにより制作コストの回収もできると思われる。
- そこからの実際に来城際の観光収入にもつながると考えられる。

参考資料

- 読者の皆さんの「お城生活」ニューノーマル！？「第2回 城びと城勢調査（2022年度）」の結果発表

[https://shirobito.jp/article/1620\(2023/01/05\)](https://shirobito.jp/article/1620(2023/01/05))